

～ 会派の活動を報告します ～

政友会

当会派は8月29日、ごみ処理問題について執行部より説明を受け、意見交換をしました。古河地区は「古河クリーンセンター」、総和・三和地区はさしま環境管理事務組合が運営する「さしまクリーンセンター寺久」と地区によりごみ処理施設が異なります。また古河クリーンセンターは老朽化が進んでおり、今後の施設整備の方向性をはじめ、ごみの有料化、プラスチックの資源化など、ごみ処理問題は喫緊の課題が山積しています。さらに循環型社会を形成していくための3R活動の推進

や生ごみ等のたい肥化を推進していく必要があると考えます。

また同日、消防署の職員にお越しいただき、茨城西南地方広域市町村圏事務組合の説明を受けました。管轄する地域の安心安全のために施設の配置、建て替え、人員の確保などについて意見交換をしました。



11月18日には、市民生活の安心安全のために、市民目線

で取り組んでいただくべく、市政全般20項目からなる、令和5年度予算要望書を市長に提出しました。今後も市政諸問題について会派勉強会を重ね、提言をしてまいります。



市長へ要望書を提出

渡邊 澄夫 佐藤 泉
大島 信夫 鈴木 務
小森谷博之 赤坂 育男
鈴木 隆

古河市公明党

古河市公明党は令和4年10月5日、「令和5年度予算編成に関する政策要望書（予算要望書）」を、針谷市長へ提出しました。この「予算要望書」は、日頃の議員活動の中で、市民の皆さまから頂いたご意見やご要望をはじめ、会派内の各議員が行ってきた議会質問や調査・研究から培った政策提案を取りまとめたものです。令和5年度の予算編成に当たっては、「行財政改革・防災・減災・高齢者福祉・障がい者福祉・健康増進・子育て・環境・産業振興・教育など」各分野における重要施策43項目

について要望いたしました。具体的な政策として、①高齢化の進展を鑑み、公共施設のバリアフリー化を積極的に推進すること。②車道への「自転車通行レーン」の設置を推進すること。③スマホアプリを活用し、市内の飲食店を「子ども食堂」として活用できるシステムを構築すること。④帯状疱疹の予防接種に対する助成制度を導入すること。⑤保育施設周辺での交通事故を防止するため、キッズゾーン・キッズガード等の整備を進めること。⑥特別支援教育については、支援員を増強し、支援の充実を図ること。⑦離農者や就農希望者について、農業参画希望者が利用しやすい体制整備

を推進すること。⑧豪雨等の冠水地域については、早急に整備計画を策定すること等。

古河市公明党は、生活者の視点から「支え合う街づくり」「安心して暮らせる温かな街づくり」を目指し、適正な予算編成と執行により、当会派からの要望が市政に反映されるよう、これからも全力で取り組んでまいります。



予算要望書を提出する古河市公明党